

訪問看護と介護

2009
Vol.14 No.2

2

特集

小児訪問看護の可能性

医療的ケアと生活支援のために、家族の介護支援のためにも小児への訪問看護はなくてはならないものです。小児訪問看護の充実に向けて、これまでの実践から得られたやりがい、課題、訪問看護を行う際の注意点などを特集します。

吉野朝子／山西紀恵／加部一彦

■シリーズ「クオリティの向上を！——訪問看護の充実をめざして」

訪問看護推進委事業・モデル事業の有効活用を

福井小紀子／堀田美波／岡野則子／木村浩美／白石恵子

■特別記事

3年目を迎えたセコムの新卒訪問看護師育成 小西優子

■研究報告

在宅人工呼吸療法中の小児の家族への夜間滞在型訪問看護が看護師に与えた影響 1・2

生田まちょほか

■実践報告

在宅療養が継続できず病棟で看取りにいたった症例の検討 松延理恵ほか

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時事刻々 石田昌宏／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア 山崎正人／ほんとの出会い 岡田真紀／100歳までの道のり 城美奈子／お母さんといっしょ 横谷順子／自宅で死んでみませんか 皆川夏樹

編集
後記

●阪神・淡路大震災が起きたのは14年前の1月のことで、1月という災害対策を考えてしまいます。「マグネットステーション」「実践報告」でもふれられていますが、災害場面を想定した事前のシミュレーションなどが災害時の困難の再認識につながるかもしれません。なお、1号より新連載として横谷氏の漫画「お母さんといっしょ」の掲載が始まりました。「自宅で死んでみませんか」に続いて、右開きをご覧ください。……………富岡
●新しい1年が始まりました。介護職の待遇改善をはじめとして、医療福祉の現場の懸案となっていた課題がよい方向に動き出す年になってほしいと願います。特集した精神科訪問看護の取り組みからは、地域に看護や介護専門職の連携があるありがたさが伝わってきます。人との関係が希薄になりがちな世の中、疾患や障害をもたなくても生活していくには困難がつきもので、振り込め詐欺対策ではないですが誰にでも気さくに声をかけてしまう普通のおばちゃんパワーも有効かなと、自分にできることを思いました。……………伊藤

訪問看護と介護 第14巻 第1号（通巻151号） 2009年1月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan
1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめり予約購読料13,200円（年間12冊，消費税，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

JCLS <（株）日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上の例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。